

連結決算のご報告（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

経営成績

当連結会計年度の売上高は、平成15年3月に大日本土木株式会社を新たにグループに加え、更に平成15年10月に新日石エンジニアリング株式会社の工事・エンジニアリング部門を吸収分割する等グループ力強化により3,691億14百万円と前期に比べて24.8%の増加となりました。

しかし、利益につきましては、受注競争の激化や公共工事のコスト縮減が進む中で、全社を挙げてコスト削減等に努めましたが、営業利益は64億65百万円と前期に比べて16.0%の減少、経常利益は75億92百万円と前期に比べて5.6%の減少となりました。また、減損会計の早期導入による減損損失、たな卸不動産の評価損および関連会社の整理損等が発生したことにより175億68百万円の当期純損失となりました。

事業別の営業の成果

建設事業

当企業集団の主要部門であり、すべての連結会社が当該事業を営んでいます。

受注高は上記グループ力強化により3,128億13百万円と前期に比べて56.5%の増加、完成工事高は2,838億75百万円と前期に比べて36.2%の増加、営業利益は80億98百万円と前期に比べて21.0%の増加となりました。

製造・販売事業

売上高は658億35百万円と前期に比べて4.1%の減少、営業利益は40億91百万円と前期に比べて20.7%の減少となりました。

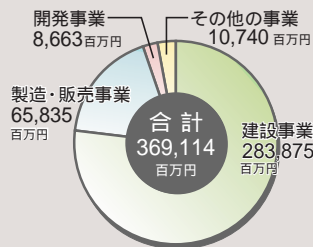
また、主たる製品であるアスファルト合材の製造数量は1,173万tと前期に比べて3.7%の減少、販売数量は894万tと前期に比べて2.5%の減少となりました。なお、連結子会社は当該事業を営んでいません。

開発事業

売上高は86億63百万円と前期に比べて18.5%の減少、営業損益は7億21百万円の損失となり前期に比べて11億25百万円の減少となりました。

その他の事業

売上高は上記新日石エンジニアリング株式会社の影響で107億40百万円と前期に比べて34.3%の増加、営業利益は4億68百万円と前期に比べて1億92百万円の増加となりました。なお、連結子会社は当該事業を営んでいません。



損益の状況

売上高	(百万円)
経常利益	(百万円)
当期純利益	(百万円)
1株当たり当期純利益	(円)

第102期（平成14年度）

295,709
8,045
2,732
22.50

第103期（平成15年度）

369,114
7,592
17,568
149.54

財務の状況

総資産	(百万円)
株主資本	(百万円)
株主資本比率	(%)
1株当たり株主資本	(円)

第102期（平成14年度）

391,833
159,608
40.7
1,363.48

第103期（平成15年度）

365,073
142,320
30.9
1,192.94

連結決算のご報告

連結貸借対照表要旨

平成16年3月31日現在

資産の部	単位：百万円
流動資産	252,459
現金預金	20,262
受取手形・完成工事未収入金等	119,369
未成工事支出金	63,788
たな卸不動産	27,940
繰延税金資産	7,949
その他	13,148
固定資産	112,613
有形固定資産	81,700
建物・構築物	18,527
機械装置・運搬具	10,852
土地	50,878
その他	1,441
無形固定資産	579
投資その他の資産	30,333
投資有価証券	22,693
長期貸付金	4,330
繰延税金資産	233
その他	3,076
資産合計	365,073

負債の部	単位：百万円
流動負債	191,050
支払手形・工事未払金等	121,580
短期借入金	1,281
未成工事受入金	37,842
その他	30,346
固定負債	29,744
長期借入金	2
繰延税金負債	737
退職給付引当金	16,630
その他	12,373
負債合計	220,794
少数株主持分	1,958
資本の部	
資本金	15,324
資本剰余金	15,914
利益剰余金	101,492
その他有価証券評価差額金	9,679
自己株式	89
資本合計	142,320
負債・少株持分及び資本合計	365,073

(注) 1 .有形固定資産の減価償却累計額 97,441百万円
2 .1株当たりの当期純損失() 149円54銭

連結損益計算書要旨

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

	単位：百万円
売上高	369,114
営業費用	362,649
営業利益	6,465
営業外収益	1,832
営業外費用	705
経常利益	7,592

	単位：百万円
特別利益	1,605
特別損失	27,938
税金等調整前当期純損失()	18,739
法人税、住民税及び事業税	2,120
法人税等調整額	3,450
少数株主利益	158
当期純損失()	17,568

連結剰余金計算書要旨

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

	単位：百万円
(資本剰余金の部)	
期首残高	15,529
増加高	384
期末残高	15,914
(利益剰余金の部)	
期首残高	122,736
減少高	21,244
期末残高	101,492

連結キャッシュ・フロー計算書要旨

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

	単位：百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	720
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	123
現金及び現金同等物の増減額	3,771
現金及び現金同等物の期首残高	21,656
分割承継に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,228
現金及び現金同等物の期末残高	20,113

単体決算のご報告 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

営業の成果

当期の受注高は、3,086億39百万円と前期に比べて15.9%の増加、売上高は、2,782億5百万円と前期に比べて1.8%の増加となりました。

利益につきましては、受注競争の激化や公共工事のコスト縮減が進む中で、全社一丸となって努力してまいりましたが、経常利益は55億54百万円と前期に比べて27.4%の減少となりました。

また、減損会計の早期導入による減損損失、たな卸不動産の評価損および関連会社の整理損等が発生したことにより207億77百万円の当期純損失となりました。

なお、株主配当金につきましては安定配当政策のもと、1株につき、普通配当9円、特別配当3円、合計1株につき12円とさせていただきます。

部門別営業の成果

工事部門

当期の受注工事高は、2,239億55百万円、これに前期からの繰越工事高を加えますと、当期手持工事高は2,891億38百万円となり、うち当期中の完成工事高は、1,935億43百万円となりました。

なお、受注工事高は、前期に比べて25.0%の増加、完成工事高は、前期に比べて4.2%の増加となりました。

製品部門

当期のアスファルト合材およびその他の製品販売の売上高は、660億23百万円となり、前期に比べて4.1%の減少となりました。

開発事業等の部門

当期の開発事業等の受注高は、186億59百万円、売上高は、186億38百万円とそれぞれ前期に比べて微増となりました。

業績の推移

	第100期 (平成12年度)	第101期 (平成13年度)	第102期 (平成14年度)	当期 (平成15年度)
受注高 (百万円)	302,552 (2.8%)	287,769 (4.9%)	266,226 (7.5%)	308,639 (15.9%)
売上高 (百万円)	309,809 (6.1%)	291,081 (6.0%)	273,202 (6.1%)	278,205 (1.8%)
経常利益 (百万円)	10,225 (21.7%)	7,356 (28.1%)	7,646 (4.0%)	5,554 (27.4%)
当期純利益 (百万円)	4,127 (0.3%)	3,235 (21.6%)	2,595 (19.8%)	20,777 (ー)
1株当たり当期純利益 (円)	35.26 (0.3%)	27.64 (21.6%)	21.37 (22.7%)	176.65 (ー)
総資産 (百万円)	349,357 (13.9%)	313,752 (10.2%)	305,125 (2.7%)	297,454 (2.5%)
純資産 (百万円)	159,175 (10.5%)	156,776 (1.5%)	155,917 (0.5%)	137,450 (11.8%)
1株当たり純資産 (円)	1,359.59 (10.5%)	1,339.24 (1.5%)	1,331.97 (0.5%)	1,152.18 (13.5%)

単体決算のご報告

貸借対照表要旨

平成16年3月31日現在

資産の部	単位：百万円
流動資産	186,605
現金預金	6,516
受取手形	22,551
完成工事未収入金・売掛金	80,502
販売用不動産・開発事業等支出金	26,919
未成工事支出金	30,940
繰延税金資産	7,792
その他	11,382
固定資産	110,849
有形固定資産	80,379
建物・構築物	18,087
機械装置・運搬具	10,811
土地	50,078
その他	1,402
無形固定資産	536
投資その他の資産	29,934
投資有価証券	20,254
長期貸付金	4,209
その他	5,469
資産合計	297,454
(注) 1 .有形固定資産の減価償却累計額	95,160百万円
2 .1株当たりの当期純損失()	176円65銭

負債の部	単位：百万円
流動負債	140,965
支払手形	16,668
工事未払金・買掛金	90,459
未払金	12,314
未成工事受入金	13,510
その他	8,011
固定負債	19,038
長期繰延税金負債	541
退職給付引当金	10,153
預り保証金敷金	7,639
その他	704
負債合計	160,004
資本の部	
資本金	15,324
資本剰余金	15,914
利益剰余金	96,767
株式等評価差額金	9,533
自己株式	89
資本合計	137,450
負債・資本合計	297,454

損益計算書要旨

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

	単位：百万円
売上高	278,205
営業費用	273,633
営業利益	4,572
営業外収益	1,270
営業外費用	288
経常利益	5,554
特別利益	101
特別損失	27,996

	単位：百万円
税引前当期純損失()	22,340
法人税、住民税及び事業税	1,850
法人税等調整額	3,413
当期純損失()	20,777
前期繰越利益	2,634
当期末処理損失()	18,142

利益処分

平成16年6月29日

	単位：円
当期末処理損失()	18,142,279,029
特別償却準備金取崩額	56,710,475
固定資産圧縮積立金取崩額	3,757,561
別途積立金取崩額	21,000,000,000
計	2,918,189,007
これを次の通り処分いたします。	
株主配当金	1,430,804,388
1株につき12円(普通配当9円、特別配当3円)	
役員賞与金(監査役分7,740,000円を含む)	72,000,000
固定資産圧縮積立金	64,375,179
計	1,567,179,567
次期繰越利益	1,351,009,440